

氏名	森 將 晏		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	甲 第 3 9 7 号		
学位授与の日付	昭和50年3月31日		
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学位論文題目	A study on the nuclear extrusion of mammalian erythroblast (哺乳類赤芽球の脱核機構に関する研究)		
論文審査委員	教授 小川勝士	教授 平木 潔	教授 小田 琢三

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

赤芽球は成熟の過程で核を放出し網赤血球になることが知られているが、この機構については明らかではない。本論文ではこの脱核の機構について実験を行い次のような結果を得た。貧血ウサギ末梢血中の赤血球は2時間のインキュベーションで約50%のものが脱核する。この過程は赤芽球のさかんな運動と核の切り離しによって行われる。この脱核現象はモノヨード酢酸では阻害されず、DNPやアンチマイシンAでよく阻害され、ミトコンドリア呼吸によるエネルギーが重要であることを示している。又、運動阻害剤として知られているコルヒチンは脱核を阻害しないが、サイトカラシンBは著しい阻害を示す。この事は赤芽球のマイクロフィラメントが関与している事を思わせるが、未だ赤芽球にはマイクロフィラメントは見つかっておらず、これからの研究にまたねばならない。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、貧血家兎末梢血中の赤芽球の脱核機構を検討したものであるが、この機構にはミトコンドリア呼吸によるエネルギーが重要であり、またサイトカラシンBの著しい阻害作用からマイクロフィラメントが関与することを明らかにしたもので、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。